



4月から仁礼コミュニティセンターを使用される団体は
使用許可申請書の提出をお願いします。

継続して使用されているサークル・団体、または初めて使用する団体も年度毎に「使用許可申請書」を提出していただくことになっています。

申請書の必要な方は、職員にお声がけください



《やしょうま作り教室》

2月24日(金)・3月3日(金)二週続けてやしょうま作り教室を開催しました。やしょうまは仏様の供物ですが、米粉を使ったおやつとして手軽に美味しく作れます。今年の干支うさぎの顔が入ったやしょうまが出来上がり、参加された方は出来栄えを見比べながら、笑顔になっていました。



《須坂市議会傍聴》

須坂市市会議員選挙から初めての三月議会の傍聴会を開催しました。区長様始め児童民生委員様、保健補導員の方にご参加いただき私達の生活に身近に係る課題の議論を傍聴しました。議会中は当日申し込みをすれば、自由に傍聴できますので体験してみてください。



2023年度 第1回 スマホ・パソコン相談室

スマホ・パソコンのちょっとした操作や接続等、何でも疑問質問に無料でお答えします
相談申し込みはお電話での予約となりますのでご連絡ください。



日時 4月24日(月) 午前10時～正午
場所 仁礼コミュニティセンター図書室
講師 信州 SOHO 支援協議会
定員 6名
申し込み 仁礼コミュニティセンター
問合せ Tel.026-245-8118

定員になり次第締め切ります。

※ ご自分のパソコン・スマホをお持ちください。
※質問の内容によっては、その場で解決しないこともあります。

仁礼地域の遺跡紹介します

仁礼町 宇原川上流

【石小屋洞穴古墳】 13,000 年前縄文草創期遺跡



世界最古級といわれた
微隆起線紋土器発見

須坂で初めて人が
暮らした歴史はここから…



石小屋洞穴は、遺跡としての発見当時、山で働く人々の休憩所・避難所として利用されていたが、先史時代の遺跡と判明したのは昭和 25 年(1950)、洞穴上方の露岩をかすめて新設された、林道工事の時である。露頭の裾から弥生土器片が見つかり、さらに灰にまみれた縄文土器片・獣骨などが採集され、洞窟遺跡であることが確定した。

その後、昭和 38 年(1963)の全掘調査により、上層部からは弥生式土器、その下から縄文晩期から早期にかけての層が確認され、さらに洞穴内最下部は縄文草創期の層であり、そこからほぼ完形に復元されたこの微隆起線文土器を含む各種の草創期の土器及び石器が発見されたのである。

1 万 3000 年前の縄文草創期の土器で、このように復元された例は全国でも稀であり「奇跡の土器」とも言われ、高校の教科書や考古学関係書に必ず掲載されて、「世界最古級の縄文完型土器」として今だに海外の縄文展に展示されるなど、その存在価値は揺るぎない。

現在は、国学院大学に所蔵され、須坂市立博物館には精巧な複製品が展示されている。

※参考文献 ①須坂市史(昭和 56) ②須坂市誌・歴史編 I (平成 29)

◎終戦後わずか5年後に偶然に発見・発掘されたこの世界最古級の土器が、踏み潰され、打ち捨てられることなく現存しているのは、須坂市民の文化財の保護への深い理解と文化度の高さを示すバロメーターであるといっても過言ではありません。

◎当時の新聞などでどのように関心が高まったのか調べてありませんが、仁礼会の皆様はこの宝物の複製土器を地元の仁礼小学校の学びのために届けていただいています。

そして、発掘から約 70 年後の平成 30 年(2018)、須坂市内の小学校の社会科副読本に初めて写真入りで「世界最古級の土器発見！！」と 1 ページを使って紹介しています。

◎是非一度、須坂に人が暮らし始めたことの歴史の事実を宝物として実感していただくために、コロナ退散のこの春は、市立博物館と石小屋洞穴古墳に足を運んでみませんか…。

『写真撮影:文 生涯学習推進員 宮下芳一』